



一乗小だより

深く考える子
進んで取り組む子
思いやりのある子

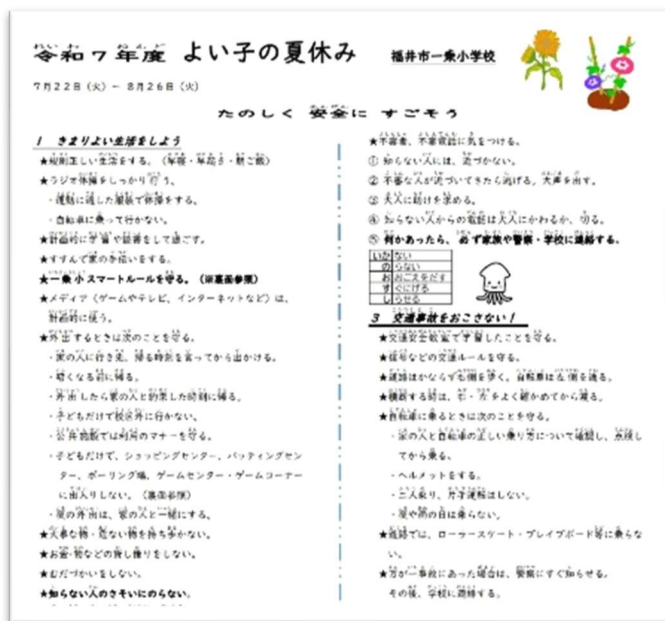
福井市一乗小学校 第66号
令和7年7月18日発行
TEL 43-2024 FAX 43-2025
E-mail: itijo-e@fukui-city.ed.jp

夏休みが始まります

今日で一学期の前半が終了しました。明日から39日間の夏休みに入ります。学校再開は8月27日(水)です。みんながまた元気に登校するのを待っています。有意義な夏休みになることを祈っています。

さて、本日、朝礼と学級の時間において、子どもたちに夏休みの過ごし方について話しをしました。右にある「令和7年度よい子の夏休み」を使って説明をしましたが、保護者の皆さまにもご覧いただき、夏休みの過ごし方についてご家庭でお子さまと話をする時間をとっていただきたいと思います。

また、福井県教育委員会および福井市教育委員会より、お子さまの夏休みの過ごし方について保護者の方へのお願いの連絡がありましたのでお知らせします。子どもたちの安心安全な夏休みになりますよう、以下のことをご覧いただき、ご家庭での見守り等をよろしくお願いします。



☆☆ 夏季休業中のお子様の見守りについて ☆☆

- (1) 休業期間中の家庭においてお子様の様子の把握をお願いします。
- (2) お子様の悩みや変化について心配な場合は、学校やその他の相談窓口を利用してください。
- (3) 情報端末やテレビ、ゲームばかりの生活にならないようにし、積極的に読書や家事の手伝いをするなど、家族の一員として規則正しい健康な充実した生活を心がけましょう。
- (4) 保護者同士が連絡をとりあいながら、外出する時の行き先・同行者・帰宅時間を確認するなど、家庭でのルールを決めておきましょう。そして、行き帰りを含め、できるだけ一人で行動しないように注意をお願いします。
- (5) 夏は、観光客等による交通量増や夜間外出が増えるため、不慮の交通事故が増加します。交通安全等に十分に注意し安全な生活を心がけましょう。
- (6) 自転車について、交通ルールに従った安全な乗り方を心がけましょう。
- (7) 海水浴や川遊び等に子どもだけで行かないなど、水の事故に十分注意をお願いします。
- (8) 夏は祭りや行楽のシーズンでもあり、外出の機会が多くなり、事故や犯罪に巻き込まれる危険性が高くなります。児童が安全に行動できるように配慮をお願いします。
- (9) SNSなどに起因する犯罪が多発しており、その危険性について家庭でお子様と確認をしてください。

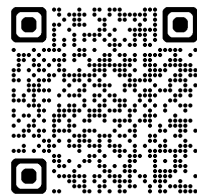
*** 万一、事件や事故に遭ったときには学校に連絡してください。休日の場合は右のQRコードから連絡をお願いします。**



一乗小：緊急発生時の連絡フォーム



相談窓口連絡先



水の事故から自分の身を守る 《2》

子どもたちにとって楽しい夏休み。しかし、その一方で悲しい事故が起きているのも事実です。警察庁によりますと、令和6年の7月・8月の水の事故は488件あり、被害にあった601人のうち242人が亡くなるか、行方不明になっています。また、レジャー以外に仕事中の事故も含めて、年間の水による事故件数は1535件あり、被害者は1753人、うち死者・行方不明は816人です。



さらに、昨年の7月・8月において、中学生以下の子どもの発生件数は68件あり、105人が被害にあっています。毎年6月から子どもの事故が目立ち始めます。

そこで、プールや海、川など水のあるところに行く機会が増えるこの夏休みに、被害にあわないためにできることを考えましょう。以下、災害救助にあたっている関係機関から呼びかけられている内容をご紹介しますので、出かける際にご家族や友達同士での確認をお願いします。

「水の事故」から命を守るポイント

◆「立入禁止」の場所には近づかない

海や川など水辺には見ただけでは分からない危険が潜んでいます。柵があったり、「立入禁止」等の看板があったりする場所には絶対に近づかないようにしましょう。

◆1人で行動しない

1人で行動し、事故にあっても発見されないことがあります。グループで行動しましょう。また、出かけるときに家族に行き先や帰宅時間を伝えておきましょう。もしものときにも異常に気付くきっかけとなり、速やかな救助につながります。

◆ライフジャケットの常時着用

水の事故で生死を分ける重要な要素となるのが、ライフジャケットの着用です。これを徹底するだけで、重大事故発生の確率を大きく下げることができます。

◆体調が悪いときは水に入らない

体調を把握して、疲労や睡眠不足を感じる場合などは、決して無理をしないようにしましょう。

◆こどもから目を離さない

小さな波にも足をすくわれ、沖に流されたり、溺れたりすることもあります。常にこどもから目を離さないようにしましょう。

◆連絡手段の確保

万一、水の事故が起きたときに、救助機関に速やかに通報できるよう、携帯電話などの連絡手段を確保しておきましょう。救助が必要なときは、「110番（警察）」又は「119番（消防）」への連絡が第一です。

＊その他

海上事故の場合 → 海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」

◆◆ 海での「水の事故」を防ぐポイント ◆◆

(1) 管理された海水浴場で泳ぐ

ライフセーバーや監視員などが常にいる海水浴場など、管理された安全な場所で楽しみ、「立入禁止」「遊泳禁止」などと表示がある場所には絶対に近づかないようにしましょう。離岸流にも十分に気をつけましょう。

(2) 荒れている海には決して近づかない

(3) 海にいる危険な生物に注意（クラゲ、オニオコゼ、ゴンズイ等）

◆◆ 川での「水の事故」を防ぐポイント ◆◆

(1) 川の地形を知り、危険な場所には近づかない

「危険を示す掲示板」が設置されている場合は決して遊ばないようにしましょう。

(2) 天気予報などをチェックして、急な増水に備える

特に中州、河原に草が生えていない所、また、川幅が狭い場所は増水すると短時間のうちに水位が上昇し、川の流れが速くなるおそれがあります。

..... 切 り 取 り

学校へのご意見や感想をお知らせください。

こちらからも可 →→→

年 名 前

(無記名でも構いません)

